

(2022年12月現在)

《評議員》

上原 慎太郎／日本製鉄(株) 東北支店長
梅内 淳／仙台市 まちづくり政策局長
小野 誠彦／東北電力(株) 執行役員 ソーシャルコミュニケーション部門長
菊野 麻子／Kアブローチ 代表
北澤 徹也／UBE三菱セメント(株) 東北支店長
木田 淳／(株)クレハ 執行役員 生産・技術本部長 いわき事業所長
カーボンニュートラルプロジェクト副統括マネージャー
今野 彩子／(株)ユーメディア 取締役経営企画本部担当
佐々木 隆志／東北自然エネルギー(株) 取締役会長
清野 芳彰／東洋刃物(株) 代表取締役社長
長谷川 史彦／東北大学 未来科学技術共同研究センター 特別顧問
浜 知美／アリディーヴィー(株) 取締役副社長

《役員（理事・監事）》

理事

増子 次郎／〔代表理事 会長〕東北電力(株)取締役会長
藤崎三郎助／〔副会長〕東北六県商工会議所連合会 会長
青野 浩文／〔代表理事 専務理事〕(公財)東北活性化研究センター
瀬戸 勇／〔業務執行理事 常務理事・事務局長〕(公財)東北活性化研究センター
池田 敬之／宮城県 副知事
一力 雅彦／(株)河北新報社 社主・代表取締役社長
稲垣 智則／東日本興業(株)相談役
小沢 喜仁／福島大学 共生システム理工学類 客員教授
後藤 浩司／(株)日立製作所 東北支社長
齋藤 幹治／(一社)東北経済連合会 専務理事
勝治 博／鹿島建設(株)常務執行役員 東北支店長
高田 佳幸／(株)日本政策投資銀行 執行役員
吉川 保志／(株)東芝 東北支社長

監事

内田 明生／丸紅(株)東北支社長
福田 稔／福田稔公認会計士事務所 所長

■ 沿革

「東北活性化研究センター」は、2010年6月1日に、「財団法人東北開発研究センター」と「財団法人東北産業活性化センター」が合併・発足し、2012年4月1日に公益財団法人に移行した組織です。

産・学・官・金の強力なネットワークの下、「調査研究・実践一体の地域シンクタンク」を目指して活動を展開しています。

■ 活動理念：「知をつなぎ、地を活かす」

東北地域の持続的発展のため、東北各界の「知」を結びながら、東北の「地」が将来にわたり「麗しの地」であり続けられるよう、各種の調査研究やコンサルティング、プロジェクト支援の事業を通じてその実現に努力していくことを活動理念としています。

■ シンボルマーク：(名称「知の芽吹き」)

青いオブジェクトの部分は、2つの円が繋がってひとつとなった「知識」と「連携」を表しています。さらにその造形は、新潟を含む東北の大地から「知」の芽が出て、東北の宝・価値である「実」が成るという活性研の躍動感を表しています。

会員募集のご案内

センターの事業活動にご賛同いただける、
企業・団体様を募集しております。

[1口 5万円(年額)]

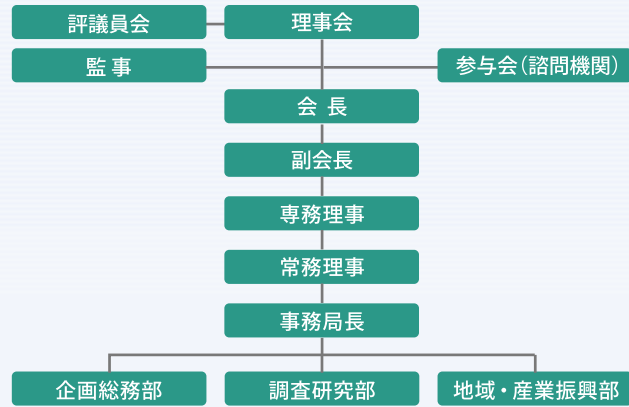
皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

賛助会員(出捐会員含)155 企業・団体(2022年4月末)

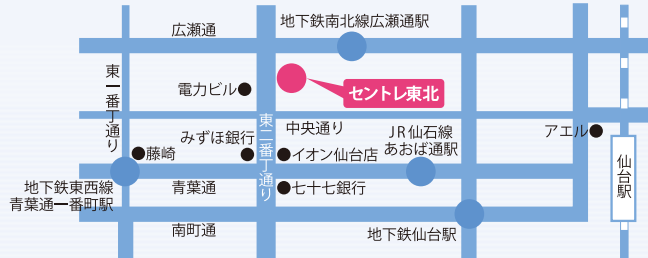
■組織概要

◎名 称／公益財団法人 東北活性化研究センター
◎会 長／増子 次郎
◎所在地／〒980-0021
仙台市青葉区中央二丁目 9 番 10 号
セントレ東北 9 階
◎電 話／ 022-225-1426(企画総務部)
022-222-3394(調査研究部)
022-222-3357(地域・産業振興部)
◎F A X／ 022-225-0082
◎E-mail／ kasseiken@kasseiken.jp
◎U R L／ <https://www.kasseiken.jp>

■組織機構図

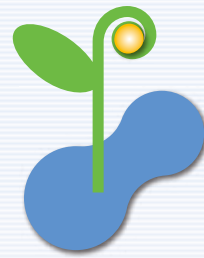


■所在地(アクセス)



アクセス

◎JR仙台駅西口より徒歩10分 ◎JR仙石線「あおば通駅」1番出口より徒歩5分
◎仙台市営地下鉄南北線「広瀬通駅」西2出口より徒歩1分



知をつなぎ、地を活かす

東北活性研

公益財団法人 東北活性化研究センター

知をつなぎ、地を活かす



公益財団法人 東北活性化研究センター
Tohoku Regional Advancement Center

〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9番10号(セントレ東北9階)
Tel.022-225-1426(代) Fax.022-225-0082
URL <https://www.kasseiken.jp>

2022年12月

知をつなぎ、地を活かす

～連携力で地域社会と産業を活性化する～

東北活性化研究センターは「知をつなぎ、地を活かす」を活動理念として、東北圏(青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県および新潟県)の地域・産業活性化に関する調査研究、プロジェクト支援等の事業を行っています。その成果を各方面に提供するとともに、将来を担う人財の育成も行い、東北圏の活力向上と持続的な発展に寄与してまいります。

調査研究事業

《ベンチャー・スタートアップ企業の成長による地域活性化》

◎東北圏に存在するベンチャー・スタートアップ企業の課題を踏まえ、創業期から成長期、そして拡大期のステージに導く対応策など、ベンチャー・スタートアップ企業の成長による地域活性化(地域産業の成長、若者を引き付ける魅力的な企業の創出など)への方向性を提示することとしています。

《東北圏における買い物困難者・交通弱者等対策としての新たな移動支援サービスに関する先行事例調査》

◎東北圏では高齢化社会に対応した交通手段の確保や、高齢者を中心とした買い物困難者・交通弱者への対応が課題となっています。各種移動支援サービスの先進事例を調査し、移動支援サービスがこれらの課題に対して、どのようなソリューションとなり得るか提示することとしています。



茨城県境町で定常運行している自動運転バス

《東北データブックオンライン》

◎自治体等の政策立案部署、大学等の研究機関、経済団体および社会経済の活性化に取り組む組織等に活用いただくことを目的に、社会経済指標から東北圏の現状、特徴を概観できるWebコンテンツ「東北データブックオンライン」をホームページ上で公開しています。



Webコンテンツ「東北データブックオンライン」の一画面

プロジェクト支援事業

《東北・新潟の「キラ☆企業」》

◎東北圏の優れた企業への理解を深めていただくことによって若者の定住・還流を促すため、製造業・サービス業を中心に「キラ☆(ボシ)企業」を約300社登録し、若者目線で各社の魅力をWebサイトで紹介しています。

◎また、女性社員がいきいきと活躍しているキラ☆企業を紹介するYouTube動画「女性社員が輝くキラ☆企業!」を公開しています。



「キラ☆企業」WebサイトPRポスター

《人口の社会減と女性の定着に関する情報発信》

◎2020年度に取りまとめた「人口の社会減と女性の定着に関する意識調査」の結果・提言について、フォーラムやワークショップ等を通じて広く情報発信し、東北圏が若い世代から選択され魅力ある地域になるための方策や意識改革の必要性を発信しています。



「宮城×首都圏の学生による女性定着に関する学生合同ワークショップ」の様子



情報発信サイト「TOHOKU MIRAI」+

《イベント型プログラム「BizDev Meetup!」》

◎「東北圏で新規事業を興したい」「東北圏をもっと元気にしたい」という熱意のある方々に対して、出会いと学びの機会を提供します。多様な主体の交流を促進しながら東北圏における新たな成長産業の創出と地域の魅力・活力の向上を目指します。



人財育成事業

《TOHOKU わくわくスクール》

◎東北圏の小学生・中学生・高校生を対象とし、当地域に所在する様々な分野の企業や団体とを繋ぐ「出前授業」です。学問の面白さ・楽しさに触れつつ、企業や団体の活動内容に触れることで、地元の地域社会・産業の理解を深め、将来の進路の選択肢の参考としてもらうことを目的とします。

◎東北経済連合会との連携により、東北圏に所在する84の企業や団体に登録いただき開催しています。「出前授業」の様子や生徒の感想は、ホームページで随時、情報発信しています。



「TOHOKU わくわくスクール」パンフレット



宮城県の小学校での
笹かまぼこの手焼き
体験の様子

《東北・新潟の「キラ☆パーソン」～新しい働き方編～》

◎起業、兼業・副業、リモートワークなど多様な働き方やライフスタイルを実践し、東北・新潟のローカルで活躍する若手キーパーソンたちの活躍を動画配信しています。



《東北・新潟女性応援ネットワーク勉強会》

◎2020年度に実施した「東北の企業における女性活躍の実態調査」の成果を活かし、東北圏企業における女性活躍のさらなる推進に向けた情報共有とネットワークづくりを目指します。勉強会では、職場における人材の多様性を高めるダイバーシティ & インクルージョン(D&I)への理解促進や、具体的な取り組みにつながるきっかけの場を提供します。

情報発信

《機関誌「東北活性研」》

◎調査研究結果や産学官金の有識者からの提言、地域や地元企業の動向等を紹介する機関誌を年4回発行し、会員企業・団体、各自治体や図書館等に配布しています。

《事業報告会》

◎事業や活動の成果について、会員企業・団体、関係機関、一般の方々にご紹介する報告会を年1回開催しています。2020年度からはライブ配信も行っています。

《ホームページ等による情報公開》

◎調査・研究成果や各種情報について、よりわかりやすく、より使いやすい形で利用していただけるようホームページにより開示しています。メールマガジンは毎月の定期号に加え、臨時号も発行しています。

受託事業

《女性の地元定着並びに企業における女性活躍に関する意識調査》

◎女性の地元定着や企業における女性活躍に関する当センターの知見を自治体・企業の施策等に活かしてもらうことを通じて東北圏の地域活性化に貢献していくため、両テーマに関連する受託調査に取り組んでいます。

《景気ウォッチャー調査(東北地域)》

◎景気ウォッチャー調査は内閣府が主管し、景気に関連の深い動きを観察できる地域の方々の協力を得て、地域ごとの景気動向を的確かつ迅速に把握する月例経済統計です。当センターは東北6県分の調査を受託し、東北地域の調査結果を毎月、集計・分析し公表しています。

《東北・新潟の活性化応援プログラム》

◎東北圏の各地域で地域産業の振興や地域コミュニティの再生・活性化、交流人口の拡大等、地域の課題解決に向けて自主的な活動を行っている団体をサポートする東北電力(株)の地域づくり支援制度について、当センターでは、書類審査・ヒアリング審査業務を行っています。